

オブジェクト指向技術で変化に対応する “ALIVE Solutionシリーズ”就業システム

田中隆治* 安川武史*
大和田政嗣*
加藤嘉之*

ALIVE Solution Series : Working Information System

Ryuuji Tanaka, Masatsugu Oowada, Yoshiyuki Katou, Takeshi Yasukawa

要 旨

(株)三菱電機ビジネスシステム(MB)では、就業(TA)、ワークフロー(WF)などからなるWebシステム“総務・人事・経理トータルシステムALIVE Solution^(注1)シリーズ”を開発・販売している。

このたび、このALIVE Solutionシリーズを刷新するに際し、最新プラットフォーム対応、対応業種の拡大、保守性・拡張性の向上のため、Java^(注2)言語とオブジェクト指向技術を積極的に取り入れた。特に、コンポーネント化とフレームワーク、DK(Dependency Injection)コンテナといった技術を積極的に導入し、基盤のフレームワークとして、オープンソースソフトウェアのSpring FrameworkとMBが開発したJavaフレームワーク“radish”を採用して、柔軟なシステム化を可能にした。

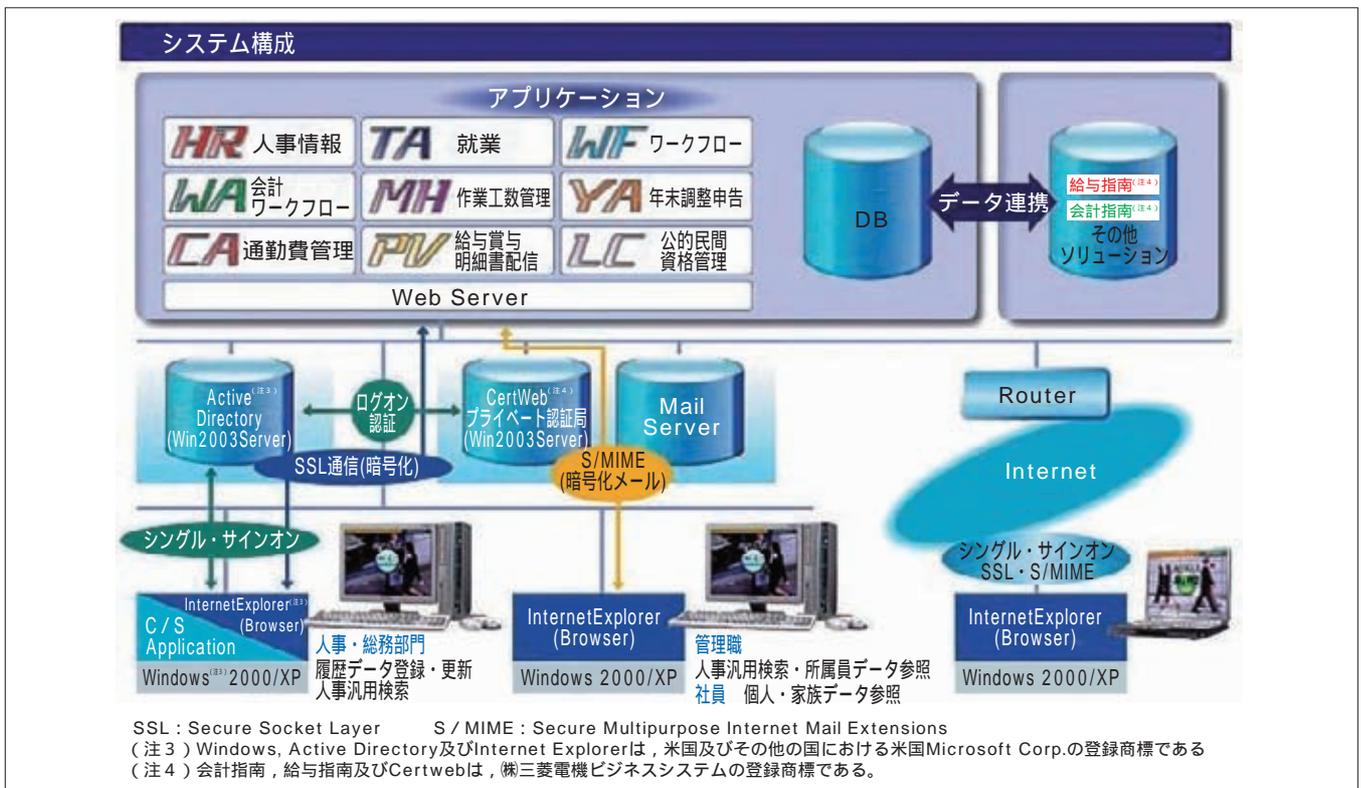
TAシステムの開発では、メニュー、ログイン・認証、

ログ出力などを、ALIVE Solutionシリーズで共通して利用できるように設計するとともに、TAシステムに特化する機能に関しても、カスタマイズによる機能拡張が行いやすい設計を心がけた。

これらの改善によって、顧客から寄せられた様々な要望にこれまで以上に素早くこたえ、効率よくシステムを提供できると確信している。今後は、WFなども順次バージョンアップして、さらなる顧客の業務改善、TCO(Total Cost of Ownership)削減に貢献したい。今後もこれらの改善を継続して、継続的に保守性・拡張性を向上させることが、顧客である企業の発展に寄与するものと考えている。

(注1) ALIVE Solutionは、(株)三菱電機ビジネスシステムの登録商標である。

(注2) Javaは、Sun Microsystems, Inc.の登録商標である。



“ALIVE Solutionシリーズ”のシステム構成

ALIVE Solutionシリーズは、Webシステムの各サブシステムが連携して、人事・総務部門のTCO削減に貢献している。また、MB製品であるCertWebなどと連携したセキュアな環境構築や、業務パッケージの指南シリーズと連携して、さらに効率的に業務を行うことができるシステムである。